



街の木々の色どりが、より鮮やかな季節を迎えました。皆さま方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、大阪府議会9月定例会も10月15日に終え、地方分権、子どもの学力向上、府庁舎整備などについての論議がされました。少し、遅くなって申し訳ございませんが、三浦寿子の一般質問・委員会質問のご報告をさせていただきます。(次のページ)

採択された請願

- 1型糖尿病患者のハイリスク分娩管理加算を含む妊娠から分娩までの費用軽減に関する件
- 府民の保健医療施策の確保に関する件
- 腎疾患総合対策の早期確立等に関する件
- 総合的難病対策に関する件
- 府立児童文学館の存続に関する件

公明党代表質問の主な項目

- 大阪の将来ビジョンの策定について
- 地域主権システムの推進
- 水道事業の府市統合
- 福祉医療費助成の現状維持
- 慢性疾患児等への支援拡充
- 国際金融拠点機能強化
- 大阪ミュージアム構想の推進
- 自主防災組織の実態調査の実施
- 食の安全対策
- 学力向上の財政的支援を

三浦とし子の フォト・レポート



アジアフェアで内モンゴルの留学生さんと



吹田市内公民館での文化祭
子どもたちの作品も沢山出展



吹田市文化の日、表彰式で
あいさつ

乳幼児期の投資は未来への投資！知事に問う

9月定例本会議（9月19日～10月15日）において、三浦寿子は「子育て支援の充実」「未受診等妊婦」「河川の急な増水に対する安全対策」「留学生施策の推進」「千里ニュータウンの再生」の5項目について知事及び関係部長に質問しました。

子育て支援については、十分な 財源の確保を！

<子育て支援の充実>

質：府の教育委員会では、「親学習プログラム」を作成、進行して頂くリーダーも393人養成。しかし、この活動領域は教育委員会所管の範疇にとどまり、親子の関係が一番大切な乳幼児期については、対象となる部局が違うため活用されていない。このことは、縦割り行政の弊害であり、部局間の連携体制が不十分であったためと言わざるをいえない。子育ての問題を解決していくには、このような縦割りを打破し、関係部局が一体となって取り組むべき。

新たな子育て交付金制度では、市町村が意欲的に取り組みやすいよう、こうした親育て事業も施策の事業例として明示し、十分な財源を確保すべき。

乳幼児期の投資は未来への大きな投資となるもの、決して財源を惜しんではならない。

知事：親学習プログラムについても教育委員会と連携し、市町村における子育て支援の現場でも活用できるよう取り組んでまいりたい。

交付金制度においても、子育て支援に関する課題や施策例を示しながら、市町村において子育て支援施策がより一層推進されるよう支援していく必要があると考える。



未受診妊婦の早急な 実態調査と対策を！

<未受診等妊婦対策>

質：未受診の妊婦の出産の場合、妊婦・新生児ともに異常が多く高次医療機関でしか対応できない。このような妊婦の方々は社会的なハイリスクのある方が多いとされている、経済面や心理面で支えていくような対策を講じていくことが必要。妊婦健診の公費負担による経済面からの支援を充実させることと加えて、速やかに実態を調査し、実効性のある対策に力を入れていくべきではないか。

健康福祉部長：健診回数増加に向けて、公費負担の一層の取り組みを促していく。

「なぜ、飛び込み出産や妊婦健診未受診という事態に至ってしまうのか」といった理由やどのような支援が必要なのか等について、実態把握を来年度行う。その結果を踏まえ、社会的ハイリスクを抱える妊婦の対応について、相談・支援など今後の展開すべき施策を府として明らかにし、実施につなげていく。



豪雨対策、市町村単位での 気象情報提供を！

< 河川の急な増水に対する安全対策 >

質：河川の増水に対する安全対策について、大阪府の気象情報は、北大阪など、大きなブロック単位の情報であり、より有効にするにも市町村単位など、小さなブロック単位で気象情報を提供するなど、サービス内容を更に充実すべき。

都市整備部長：気象台と、市町村ごとの気象情報が発表できるよう早急に協議をすすめるとともに、その情報を「大阪防災情報メール」で提供するなど、サービス内容の充実に取り組む

留学するなら大阪！！

< 留学生施策の推進 >

質：大阪がアジアの中で「魅力と存在感」あるにぎわい都市をめざすためには、アジアとの関係を強化していくことが不可欠であり、留学生の受け入れは大阪府にとっても重要施策。特に住宅の確保は重要。大阪府は近く千里留学生会館を廃止、売却するとしている。この会館に代わる留学生のための住宅をどのように確保されようとしているのか。また、今後、卒業後の就職支援など、世界の若者に大阪へ留学したいと思わせるような施策を実施していくべき。

にぎわい創造部長：千里留学生会館については、宿舎機能を残すことを条件としたコンペを年度内に実施し、民間による運営を図ってまいりたい。

大阪に関する様々な情報や発信、就職支援、住宅・生活等の情報提供や相談支援など、さらに、日本語教育や府民との交流の場づくり、大学やNPO等の多様な取り組みを支援するなど、「留学するなら大阪」と言われるよう頑張りたい。
リニューアルのモデルとして、

ナンバーワンのまちに

< 千里ニュータウンの再生 >

質：府営住宅や公社住宅の建替えについて、多様なニーズへの対応や多世代居住の推進を、住宅事業者などが連携して進めていく必要がある。千里ニュータウンの再生を進めるため、建替えに際しては、環境に配慮した設計を行うほか、今後の変化に柔軟に対応し、持続可能なまちとして成長できるよう、住民、NPO、事業者、行政などが一体となって、環境のまちづくりのモデル地域として、再生に取り組むべき。

住宅まちづくり部長：千里ニュータウンの環境のまちづくりについては、「千里ニュータウン再生指針」において取組み方針を位置づけており、この方針に沿って、シンボリックな樹木の保全、公園、緑地などの緑のネットワーク、屋上緑化など環境に配慮した設計に努めてまいります。

今後、地元市の環境まちづくりの取り組みを中心とし、住民、事業者、行政など多彩な主体による先進的な環境まちづくりの推進方策について「千里ニュータウン再生連絡会議」の場を活用し、検討を進めていく。

質：「将来ビジョン・大阪」においても「水とみどり豊かな新エネルギー都市 大阪」「子どもからお年寄りまで誰もが安心・安全ナンバー1大阪」といった将来像イメージを提示されていますが、このイメージを活用して、府としても千里ニュータウンの再生に取り組むべき。

知事：「まち」として、成熟している千里が、緑豊かな環境に囲まれ、子どもやお年寄りが安心して暮らし、地域と大学が交流するオンリーワン、ナンバーワンのまちとなるよう、地元市や府民のみなさんとともに再生の取り組みを進めていく。

健康福祉常任委員会においては、「児童虐待対策の強化」「麻しん対策」「食の安全安心対策について」以上3点について質問しました。

< 児童虐待対策の強化 >

子ども家庭センターの体制強化に加え、様々な外部の専門家からなる児童虐待等危機介入援助チームの体制の充実。市町村の児童虐待防止対策の充実に向けた支援

< 麻しん対策 >

大阪府の中学1年生、高校3年生の予防接種率は全国44位と最下位。原因を明らかにし、早急な対策を市町村に対する取り組みの推進と、学校関係者に対するアプローチを積極的に実施。予防接種は無料で受けられるという、有益かつ必要な情報の提供に努めよ

< 食の安全安心対策について >

加工食品のメラミン混入事案における府の対応について
監視体制や検査体制の充実
食品の安全にかかわる情報提供について

メラミン混入事案については、「大阪府食の安全安心推進条例」に基づき、自主回収情報の報告が事業者からなされたため、直ちに府のホームページ等で周知され、当該食品の府内流通状況の把握と検査、その結果が報道提供されました。
「大阪府食の安全安心推進条例」の制定については、大阪府議会公明党が推進し、昨年施行されました。

今なら無料！麻しん(はしか)予防接種はお早めに。

高校3年生、保護者のみなさん！！

国は2012年までにはしかの流行をなくそうと、高校3年生相当年齢の人が予防接種を受けるよう法律で決めました。麻しん・風疹のワクチンを今までに1回接種している方も、2回目の接種として受けましょう。

予防接種しないと、なんか不都合あるの？あります！

*麻しん(はしか)は、ウイルスによって空気感染する急性の発疹性疾患で、合併症で重症化する場合や、最悪の場合は死亡するケースもある病気です。治療はなく、予防接種が一番の予防方法です。

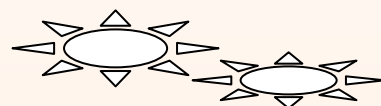
時期をのがすと約1万円かかります。お早めに！

*今なら麻しん・風疹混合ワクチン(MRワクチン)が無料(市町村費用負担)でうけられます。期間は、平成21年3月31日までです。それをすぎると、全額自己負担となり、約1万円ほどかかってしまいます。

*大学への入学や就職にあたって、「麻しん予防接種を受けていること」が求められる事もあります。ぎりぎりになって慌てても、間に合わない場合がありますので、出来るだけ10月、11月中に接種しましょう。

どうやって予防接種を受けたいの？

*予防接種が可能な時間等については、お住まいの市(区)町村内の委託医療機関に事前に連絡を入れてください。指定の予診票は、医療機関又は、各市(区)町村の保健センター等にあります。詳しくは、お住まいの市町村へお問い合わせください。



「大阪府防災情報メール」の利用者、募っています。

平成19年3月から、気象・地震・津波情報等を府民の皆さまにリアルタイムで配信する「防災情報メール」を実施。さらにゲリラ豪雨などの備えの一環として、皆さまに幅広く活用して頂くために、大阪府のホームページのトップ画面で登録の呼びかけをしています。11月からは、土砂災害警戒情報も追加配信します。是非多くの皆さまの登録を！